

様式13

会派視察研修計画書

令和 2年 6月23日

碧南市議会議長 様

会派名 みらいクラブ

代表者名 鈴木みのり 印

下記のとおり、視察（研修）を計画したので届け出ます。

参加議員	鈴木 みのり ・ 小池 友妃子		
日時	令和2年 7月 8日（水）		
視察先	アイシン精機㈱イノベーションセンター （現地視察：豊明市内）		
研修内容	乗り合い送迎サービス「チョイソコ」について		
日程	アイシン精機㈱イノベーションセンター …13:00～14:00 現地視察（豊明市内） …14:30～16:00 *詳細は別紙参照		
交通手段	<input type="checkbox"/> 公共交通機関 （電車・新幹線）	<input type="checkbox"/> 公共交通機関 （飛行機）	<input checked="" type="checkbox"/> 自家用車 （鈴木みのり）

※該当するものにチェック☑してください

様式14

会派視察研修報告書

令和2年9月7日

碧南市議会議長 様

会派名 みらいクラブ

代表者名 鈴木みのり 印

下記のとおり、視察（研修）を実施したので報告します。

なお、参加者議員 2人 分の視察研修成果報告書を添付いたします。

参加議員	鈴木みのり ・ 小池友妃子
日時	令和2年7月8日（水）
視察先	アイシン精機（株）イノベーションセンター 豊明市役所
研修内容	「乗り合い送迎サービス「チョイソコ」について」
視察先面会者 又は講師名等	アイシン精機（株）イノベーションセンター
備考	

※ 相手方から收受した資料の写しを添付してください。

視察研修成果報告書

令和 2年 7月 14日

議員氏名 鈴木 みのり 印

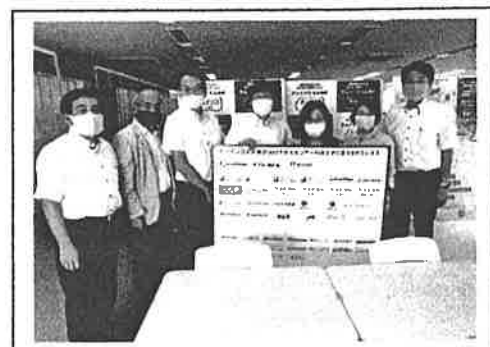
視察（研修）に参加したので、下記のとおり成果を報告します。

記

- 1 期 間 令和 2年 7月 8日（水）1日間
- 2 視察先 アイシン精機（株）・豊明市
- 3 視察の種類 会派視察（市民クラブ・公明党・みらいクラブ）
- 4 視察の成果等

今回は、改選後初めての友好会派7名での視察で、内容も「エリアスポンサーの協賛を得たデマンド型交通」（チョイソコ）と、我々らしいもので、楽しくも充実した内容の視察となりました。まずは、アイシン精機さんでプロモーションムービーによる座学を行いました。が、昨年“2019年グッドデザイン賞 特別賞”を受賞されたことによる、自信に溢れた説明でした。

その後、場所を豊明市に変え、実際に有償での実証実験を行っているチョイソコバスに乗りながら、質疑応答をさせて頂きました。基本的には、アイシン精機とスギ薬局と豊明市により運営をされていましたが、その他にも地元の多くのスポンサーさんが協賛金を出して、実施されていました。豊明市は従来からの公共の交通機関としてのバスが、走っていない「沓掛地区」「仙人塚・間米地区」をチョイソコのエリアとして、現在1700名ほどの会員登録により、1乗車200円で運行していました。運転業務は地元のタクシー会社に委託して、民業圧迫しないよう気を配られてもいました。このシステムを碧南市に導入するには、やはりこの豊明方式のくるくるバスとの併用が可能かと感じました。勿論まだまだ多くの、乗り越えなくてはいけない壁が有るかとも思うし、その他の交通手段は無いのか検討・研究をしていきたいと思ひます。



会派視察研修報告書

令和2年9月7日

議員氏名 小池 友妃子 印

視察（研修）に参加したので、下記のとおり成果を報告します。

記

- 1 期 間 令和2年7月8日（水）
- 2 視察先 アイシン精機（株）イノベーションセンター
豊明市役所
- 3 視察の種類 会派（みらいクラブ）視察
- 4 視察の成果等

「乗り合い送迎サービス「チョイソコ」について」

- ① 碧南市市内巡回バス「くるくるバス」事業についての碧南市の見解
令和2年6月19日現在、くるくるバスの利用実績を把握しながら調査研究中。
便数の増便に対する費用対効果や他の交通システム、高齢者タクシー券などの事業効果の測定など、多角的な検証を実施する中で、市民にとってもっとも効果的な交通手段の確保について、更なる調査研究を進めている。
- ② チョイソコが誕生した背景
商業集積場所の変動、既存公共交通の衰退、高齢者運転免許自主返納の促進などにより、買い物弱者と呼ばれる交通難民が増加した。そこで、新しい交通のしくみが必要となってきた。
- ③ チョイソコの特徴
 - ① 高齢者利用に最適化された運行システム
 - ・会員登録された利用者から乗車依頼を受付し、最適な乗り合わせと経路を計算し、目的地まで乗り合い送迎で運ぶシステム。
 - ・会員登録制なので利用時には事前の電話が必要。
 - ② エリアスポンサー協賛型のビジネスモデル
 - ・地域のタクシー会社と提携し運行。
 - ・運営費用の一部を協賛・広告料によってまかなうことにより、採算性高く運営を維持できる。

- ・自治体・運送事業者が主体でなく、民間企業が事業主体なので、主体的な企画や技術の投入が可能。
- ③ 地域密着型コミュニケーション
- ・自治体との協力、住民向けの説明会を多数開催し、周知・理解を深めた。
 - ・メディアにも多数取り上げてもらい、情報展開が加速。
 - ・「チョイソコ通信」を会員に発行。

④ チョイソコ導入のメリット

地域住民にとっては、「外出機会創出」

- ・自宅近くの停留所から希望時間で外出でき、外出機会が増え、心身の健康増進に貢献
- ・近所の方と顔合わせの機会が増え、地域コミュニケーションが促進

市内事業者にとっては、「集客増と新たなサービスの開発」

- ・通いの手段確保による高齢者の固定客確保の実現
- ・高齢者向けの新たな販売促進企画の実現

交通事業者にとっては、「潜在ユーザーの発掘」

- ・外出機会促進による利用者の増加
- ・提携した新たなサービス開発の創出

自治体にとっては「公共サービスの充実魅力ある街づくり」

- ・まち全体が通いの場となり魅力ある都市づくりを実現
- ・既存交通（コミュニティバス等）に代わる交通便利向上や不採算の改善
- ・高齢者によるマイカー移動負担を軽減し、免許返納を促進し、公共交通全体が活性化

【視察を終えて】

碧南市への導入の一つの検討事項と今後なると思うが、最初から全てのコミュニティバスを廃止しチョイソコに置き換えるか？またはコミュニティバスを2路線程度残し、チョイソコと組み合わせるのかを検討していくことが必要。

また、チョイソコ以外の交通手段も考えていき、碧南市民にとって最適な足となることを調査研究し、一日も早く市民が生きがいを持って暮らせるまち碧南市となるものを選び進めていきたいと感じた。

